



正義は勝つと決まっていなのが現実です

愛は勝つ？何と愛が戦うって？（笑）

大抵の場合、誰も自分が正義だと信じて行動してます。

たまに、悪党はいますが、、、。

今回、試し読みにしたPは、操がワコと私の仲を裂こうとした話ですが、操にはそれしかなかったのだと思います。

たまたま、私が勝ちましたが、たまたまです。

正義が勝つなら、世界はもっと平和な筈。

あの時、私は操をそれ以上追い詰めませんでした。それで正解でしたが、それまたたまたまです。

相手や状況次第では、コテンパンにやっておかないと手負いの虎になる者もありますので。

復讐だけ考えて生きている者は結構手強いです。こっちは、24H体勢でソイツの次の手をアレコレ予想したりしているわけじゃなし、毎回ソイツに痛い目にあう事になります。

痛いかどうか分かりゃしないのですが、かえってそれもいけない、、、。これでもか、これで少しは痛いか！？って延々攻撃して来ます。

私の負けでいいから、もうよしてくれと頼んでも無駄です。

嘘だ！まだバカにしてる！と信じない。

最初から、バカになんかしてないんですけど、徐々にホンマもんのバカだと気付かせてくれる（笑）。

操とは、大人になって一度会いました。

なんと！竹野と結婚してた！

竹野の家族と同居してた！

あ、！とあって、二世帯の方とかに失礼ですかね。ごめんなさい。

操が幸せならそれでいいです。

あ！明日になってしまった！（笑）

が、11日は、3年生編で出て来る男の子の誕生日だし、いっか（笑）。

13歳の恋人は、可愛かったです。

彼は、大人になってマルボーの刑事になったのですが、私にはナメられたままです（笑）。

「イジメてみやがれ！！！」は、かかって来いや！という意味ではなく、思い出話でもありません。

イジメにあって20代で自殺した、この話に出て来る親しい友人が、一番楽しかったのは14歳の時だったと言っていたので書いています。

その友人の誕生日も忘れられません。

友人が、ありふれた大人になっていたら、この話は書いていません。

全て、ただの学生時代の思い出話と化していたでしょうから、日記にでも書いておけばいいんです。

でも、そうはならなかった。私の中では進行形です。

今になってやっと気付いた事も多くて恥ずかしい限りです。

が、お陰で、ただの昭和の話ではなくなって、ちょっとは共感できるのでは？と考えています。

苑田の家庭環境も特殊で、個性のワケのひとつとなっています。

益々事件が増えますので、引き続き応援よろしく申し上げます。